MINATO
ミナトホールディングス株式会社

2026年11月12日

各　位

会 社 名　ミナトホールディングス株式会社
代 表 者　代表取締役会長兼グループCEO　若山　健彦
（コード：6862、東証スタンダード）
問合せ先　常 務 取 締 役　ＣＦＯ　三宅　哲史
（ ＴＥＬ　０３－５７３３－１７１０）
https://www.minato.co.jp/

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会決議において、2026年８月10日に公表した2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	百万円 81,000	百万円 10,000	百万円 9,300	百万円 6,000	円　銭 814.69
今回修正予想（Ｂ）	89,100	13,000	12,090	7,800	1,048.81
増減額（Ｂ－Ａ）	8,100	3,000	2,790	1,800	－
増減率（％）	10.0	30.0	30.0	30.0	－
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	36,572	4,232	4,042	2,108	283.22

２．修正の理由

当社グループの主要市場の一つである半導体メモリ市場におきましては、生成AI向けデータセンター投資の拡大を背景に、HBM（広帯域メモリ）をはじめとする先端・高付加価値メモリ及びSSDの需要が拡大しております。これに伴い、メモリメーカーがこれらの製品に生産能力を重点的に配分したことなどから汎用DRAM及びNANDフラッシュメモリの供給余力が縮小し、需給の逼迫及び価格上昇が継続しております。このような事業環境のもと、デジタルデバイス事業では、主要仕入先との継続的な取引関係を活かした安定的な調達・供給により顧客需要を取り込むとともに、メモリ製品の販売拡大及び収益性の改善が進み、当中間連結会計期間の業績は前回予想策定時の想定を上回りました。また、ICTプロダクツ事業におけるデジタル関連機器の販売拡大なども、連結業績に寄与しました。

これらを踏まえ、当中間連結会計期間の実績及び足元の販売・受注状況等をもとに通期の業績見通しを見直した結果、2026 年８月 10 日に公表した通期連結業績予想を上方修正することといたしました。なお、今回の修正にあたっては、メモリ市場における需給及び価格動向、仕入原価の上昇等が収益に及ぼす影響等を慎重に見極め、現時点で合理的に見通すことができる範囲で、売上高及び各段階の利益の予想値を算定しております。

引き続き、市場環境の変化を捉えた調達・販売活動の強化等を通じて収益機会を取り込み、さらなる業績の上積みを目指してまいります。

※業績予想については、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績等は今後様々な要因により、当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上